

流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局

阿部 7140-7605 石林 7154-7511

齋藤 7143-0374 三原 7152-6559

2010.3.1 NO.48



「九条の会・流山」HP：<http://www.nagareyama9.org/> メール：info@nagareyama9.org

世界は動いている

■ 米国抜きの 中南米カリブ海諸国新機構設立へ 公正・平等な国際秩序構築を

メキシコで開催されていた中南米カリブ海統一首脳会議は2月23日、米国抜きの新たな地域機構を設立することを確認した宣言を採択して閉幕しました。

首脳会議には中南米・カリブ海地域の33カ国中、32カ国が参加（昨年のクーデターで政府の正統性が問題としてホンジュラスは招待されず）。

宣言は、紛争の平和的解決、国内問題への不干渉など、国際法と国連憲章の原則の尊重にもとづく公正、平等な国際秩序の構築をめざすことを再確認。第一の決定事項として「中南米カリブ海諸国を統合する独自の地域として、中南米カリブ諸国共同体を設立する」と明記。

この地域を自らの「裏庭」として支配と干渉を続けてきた米国に対して、非米の姿勢をとる政権が次々に生まれています。米国を含まない中南米カリブ海諸国全体の地域機構が誕生するのは史上初めて。会議終了後の記者会見で、ボリビアのモラレス大統領は、「米国がいるところでは、民主主義は保障されない。社会的公正をとまなう平和も保障されない」と語り、米国抜きの地域機構設立の決定を高く評価。

議長国メキシコのカルデロン大統領は、会議を「成功」と評価し、「中南米カリブ地域は団結し



記者会見で11年のベネズエラ会議での中南米・カリブ海諸国による新機構基本合意に意欲を示すチャベス大統領
メキシコ東部ブラヤデルカルメンで2010年2月23日、(毎日)

て前進しなければならない。そうしてこそ、われわれは国民が求める発展を実現することができる」と強調。

■ NATO 米戦術核撤去を(毎日新聞から)

ベルギー、ドイツなど欧州5カ国が19日、北大西洋条約機構(NATO、加盟28カ国)の枠組みで欧州に配備されている米軍の戦術核兵器の撤去を目指して連携する方針を打ち出した。

NATOは今年11月にリスボンで開く首脳会議に向け、戦略概念の更新・改定作業を進めている。99年に「必要最小限の水準で維持する」と規定された欧州戦術核の扱いも討議されるため、5カ国はNATOの戦略見直しの中で「核なき欧州」の実現を働きかけていく方針だ。

欧州では昨年、ベルギー上院での核禁止法案上程(10月)、ドイツ政府による米軍核撤去要求(11月)など核廃絶への機運が高まった。背景には、デハーネ、フェルホフスタット両元ベルギー首相、クラス元NATO事務総長、ミシェル元ベルギー外相が19日付地元紙への寄稿で指摘したように「冷戦が終わり、欧州の米国戦術核は軍事的な重要性を失った」事情がある。

(同じく毎日新聞の別の記事)

現在欧州には約四百八十発の米国の核爆弾が配備され、そのうち約百五十発がドイツにあるとみられています。撤去を求める声は平和団体だけでなく、自治体首長、連立与党の社会民主党と90年連合・緑の党内に広がっています。四月には百三十人の首長が非核化を求める声明を発表しました。シュトルック国防相、フィッシャー外相は政府としてNATOに問題提起することを表明していました。

本上映は柏市民文化会館大ホール

4月17日(土) 14:00 19:00

映画「いのちの山河」 試写会満席

映画「いのちの山河」の試写会が2月26日アミューゼ柏で行われました。流山からも世話人だけでなく何人も参加し、ほぼ一杯の参加者で埋まりました。

雪深い貧しい村。無力感に打ちひしがれていた人々が、戦後の新憲法の下で、その精神を生かして命を守ろうとする深沢村長を中心に勇気を奮い起こした。大金をはたいてブルドーザーを買い、除雪してバスを通し、保健婦や医者を招き入れる。住民の検診を徹底して予防医療に力を入れ、赤子たちが「ころころ死んでいく」村からついに「乳幼児の死亡ゼロ」という日本で初めての記録を達成して、喜びと自信をもつ。村人の輝く顔。

人々を励まして医療の改革を進めた村長自身が病に倒れ、遺体となって村に帰る日、降りしきる雪の中を村人が総出で迎えるシーンに涙が止まりませんでした。

小さな自治体でも本当に住民の立場に立てばこんなことまで出来るという勇気と確信をもらうことができました。多くの方に見て欲しいと思います。 (石林)

世話人が前売り券(1000円)を預かっています。このニュースをお読みいただいている方だけでなく、周りの方にも広げてぜひ見てください。

製作協力券をお持ちの方は、流山での上映計画がありませんので、ぜひこの機会にご覧下さい。

他人事ではない普天間問題

首都圏の基地 横須賀は

混迷する基地問題。移転先として沖縄県内のキャンプシュワブ、またグアムばかりか九州などの案まで出され、本土の私達にもますます身近な問題になってきています。私たちの住む首都圏にも横田、横須賀、厚木など多くの基地を占領時代から米軍が継続使用しています。

横須賀の基地は自衛隊と米軍が共用していま

す。米軍はここを第7艦隊の拠点にしています。第7艦隊は西太平洋からインド洋までカバーする海軍で朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争などを戦ってきた部隊であり、日本を守るためではなくアジア全体に睨みを利かせ、「殴りこみ部隊」といわれる戦力です。その主力は空母で、一昨年原子力空母ジョージワシントンが配備され、母港としています。二基の原子炉を備え動く原発といわれ、事故も懸念されています。空母は他国を攻撃するためのものであり、自衛隊も公然と持つことが出来ないものです。

左：空母ジョージワシントン

ミサイル7基、航空機85機を備え、6800人が搭乗。

全長333メートル、おたかの森ショッピングセンターの約1.5倍という巨大なものです。

定例宣伝

3月は9日(火) 15:30~16:30

駅頭宣伝 流山おたかの森駅

2月は9日のおたかの森駅の宣伝のほか新たに石行
例加
1
19日に初駅で宣伝をいしました。9日は定で9名の参でしたが、9日は久しぶりの取り組みで、事前の連絡がほとんどこのニュースだけだったためか、5名だけの参加でいささか淋しい。



また16:00~17:00という時間は人通りもあり多くないため、通行の人向けというより、客待ちのタクシーの運転手や商店街に向けた宣伝となった感じ。

暖かな日でしたが、さすがに夕方5時になるとやはり冬です。急激に冷え込んできました。それにもめげず、続けます。隔月の19日です。

4月は南柏駅で同じく19日16:00~17:00で
す。暖かくなるでしょう。ぜひ御参加下さい。

[カンパはこちらの郵便振替口座へ](#)

00130 - 5 - 464735 口座名 九条の会流山